

幼稚園における感染症対策について

令和4年4月

ゆたか幼稚園

<幼稚園における感染症対策について>

(登降園について)

- ・全園児、登園にあたり毎朝検温を行い、検温表に記入することを義務付けます。検温表の記入・提出がない場合は登園をお断りします。
- ※バス利用者についても、乗車時に検温表の記入・提出がない場合は、幼稚園バスの利用をお断りします。
- ・37.5度以上の発熱や風邪の症状がある場合は、登園をお断りします。発熱後の登園の再開については、医師の判断もしくは解熱後24時間の経過を目安に判断してください。
- ・登園後に発熱や風邪の症状が見られる場合は、すぐにお迎えをお願いします。
- ・降園後の園庭の利用を、しばらくの間中止します。お迎え後は大人・子ども関係なく速やかにお帰り下さい。園庭や駐車場での立ち話等もご遠慮ください。

(保育について)

- ・登園後、全園児手洗いうがい・消毒を行います。
- ・全ての保育活動において、「密閉・密集・密接」の感染リスクをできる限り避けるよう配慮し、保育室の常時換気を徹底します。
- ・ホールでの活動は、最大でも学年単位としています。
- ・アルコール系の消毒剤を各保育室等にできる限り配置し、随時、手指の消毒を行います。
(※アルコールでの消毒が難しい場合は、個別に対応しますので担任まで申し出てください。)
- ・保育終了後、保育室・トイレの清掃・消毒を行います。
- ・預かり保育でも飛沫防止用のパーテーションを設置して、おやつを食べます。
- ・全クラスにプラズマクラスターイオン空気清浄機を設置し、ウイルスやアレル物質などを強力な空中除菌で取り除き、除菌・消臭を行います。

(給食について)

- ・給食の前後に、テーブルの消毒を行います。
- ・飛沫防止用のパーテーションを設置して、給食を食べます。
- ・飛沫防止の観点から、感染状況が落ち着くまでは食前の歌は歌いません。
- ・食べる直前までマスクの着用を促し、食後は歯磨きを済ませたらマスクを着用します。
- ・給食時に使用するおぼんは、使用後消毒します。

(バスについて)

- ・運行中は前後2箇所窓を開けて、常時換気を行います。
- ・乗車時、全ての園児について手指消毒を行います。
- ・座席については、3人席に1人ずつ乗車することし、できる限り間隔を開けて乗車します。(人数によって2人乗車あり)
- ・帰りのバスを待つ際も、できる限り間隔を開けて座ります。
- ・毎日運行前・運行後に、全車両清掃・消毒を行います。

(マスクについて)

- ・全園児できる限りマスク着用での登園をお願いします。汚れた場合や紛失した時に備えて、予備のマスクをリュックに入れておいてください。(※全てのマスクに園児名を記入してください。)
- ・ひよこ組さんについては、年齢的にマスクの着用が難しいことから、可能な範囲で取り組みます。
- ・基本的に保育中もマスクを着用して活動を行います。ただし、戸外遊びや十分な間隔を取って活動することができる場合や、写真撮影の時など状況に応じてマスクを外して活動します。
- ・夏場、熱中症のリスクがある場面では、状況に応じてマスクを外して活動します。

(その他)

- ・検温、マスク、手洗いや消毒は全職員も徹底します。
- ・全ての来園者について、来園時はマスクの着用と消毒にご協力をお願いします。(来園者用の消毒は、中門内側に用意してありますのでお使いください。)
- ・通用門や階段手すりなど、大人や子どもが触れる場所の消毒を毎日行います。

<未就園児教室における感染症対策について>

- ・未就園児教室の参加にあたって、参加前に必ず各家庭での検温をお願いします。(37.5度以上の発熱や風邪の症状がある場合は、参加をお控えください。)
- ・可能な範囲で、マスク着用での参加をお願いします。
- ・活動前、全ての参加者について消毒へのご協力をお願いします。(消毒液は幼稚園で用意してありますので、そちらをお使いください。)
- ・すべての活動において、「密閉・密集・密接」の感染リスクをできる限り避けるよう配慮し、ホール等屋内での活動の際には換気を徹底します。
- ・幼稚園では、保育室・トイレ・通用門など、大人や子どもが触れる場所の消毒を行っています。
- ・ホールを含めた全ての保育室に、プラズマクラスターイオン空気清浄機を設置し、ウイルスやアレル物質などを強力な空中除菌で取り除き、除菌・消臭を行っています。
- ・今後の状況によっては、スケジュール及び活動内容を変更・中止する場合がありますので、こまめにホームページをご確認ください。